

佐々木敦史のドイツ生活日記



【ドイツ冬の楽しみ：スケート①】

冬の寒さを忘れる遊びも充実している。まずはスケート。池にできる天然スケート場もあるが立派な施設もある。屋内リンク2つ、屋外オーバルリンク1つが一般市民に常に開放されている。多くの市民がお弁当をもって気軽に楽しんでいる。



【ドイツ冬の楽しみ：スケート②】

初心者は補助用ペンギンもレンタルできハンドルを握って安心して滑ることができる。屋外リンクにはアイスホッケー場もある。この日は子どもたちの試合が行われていた。フランクフルトにはプロアイスホッケーチームもある。



【ドイツ冬の楽しみ：ソリ】

30分くらいで雪が積もる山にも行ける。スキーハンドルは厳しいが市民はソリで楽しんでいる。ドイツのソリは木製でレール付き。結構スピードが出る。大人も子供も楽しんでいる。リフトがないので登るのが大変だが、この苦労があるから楽しさが際立つ。



【ドイツ冬の楽しみ：ファッシング①】

ファッシング（謝肉祭）はヘラウ！の掛け声でパレードが行われる。山車からお菓子が観客に投げ込まれるので子供たちは大喜びで袋いっぱいにお菓子を拾いまくる。山車は企業のものが多くレアグッズやお酒ももらえる。お昼から夕方までの大パレード。



【ドイツ冬の楽しみ：ファッシング②】

人々好きな仮装をして参加する。まだまだ寒い季節なので薄着の仮装だと厳しい。日本人学校でもファッシングが行われ先生方は本気で仮装しその格好で授業もする。写真は恥ずかしいので…。